

令和6年1月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和6年1月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

さて、市では、昨年12月に令和5年の10大ニュースを発表しました。

### 《令和5年 八戸市10大ニュース》

1. 待ちにまった本来の夏！ 八戸市の夏を彩るお祭り再開に歓喜！（7・8月）
2. 吉田屋 海鮮駅弁で食中毒 八戸市保健所 同社を行政処分（9月）
3. 3年ぶりに八戸えんぶり（2月）
4. 市民の映画館「フォーラム八戸」19年の歴史に幕（1月）
5. 陸上アジア選手権 男子1万メートル 田澤廉選手（八戸出身） アジア王者（7月）
6. 第85回全国都市問題会議 八戸で開幕 自治体関係者1800人 まちづくりを探る（10月）
7. みちのく記念病院で患者死亡 八戸市保健所状況確認（4月）
8. 夏の甲子園 八戸学院光星高等学校 4年ぶりベスト8（8月）
9. 種差海岸 三陸復興国立公園指定10周年（5月）
10. 「広報はちのへ」フルカラーに 読みやすさ追及、デザインも刷新（4月）

令和5年は、7・8月に八戸七夕まつりや八戸三社大祭が4年ぶりに通常開催されるなど、待ちに待った本来の夏の到来に、市内のイベント会場では多くの市民や観光客でにぎわいを見せ、久しぶりに家族や友人たちと楽しいひとときを過ごし、笑顔で喜びに満ちあふれている様子が見られました。

今年は、2月に八戸えんぶりが開催され、6月にはみちのく潮風トレイルが全線開通5周年を迎える予定となっており、いろいろなイベントを通して八戸市が更に元気になっていく1年になればと願っております。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

# 八戸 1月号 レポート

令和5年12月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	種差エリア施設充実へ 旧旅館再建など6事業に観光庁補助
(2)	八戸ブックセンター 子ども関連書籍大幅増
(3)	SDGsセミナー 海の環境 さかなクンと考える
(4)	八戸市23年度上半期 宿泊者数 コロナ禍前の水準回復
(5)	八戸水産高校で市が初アカデミー「業界危機を好機に」
(6)	東京で移住セミナー 八戸圏域の暮らし 先輩移住者が紹介

## 【産業】

記事	概要
(7)	海外バイヤーに水産加工品PR 八戸で県内7社の商談会
(8)	潮風トレイルの魅力 オーストラリアへ 旅行関係者招きツアー
(9)	八戸でこたつ屋形船運航開始 おでん、熱かん、冬景色
(10)	八戸のゲストハウスと東京のホステル連携 訪日客 相互に呼ぼう

## 【地域】

記事	概要
(11)	衆院議長在任歴代最長を記録 大島氏肖像画 国会に
(12)	デーリー東北 創刊80周年記念事業 種差海岸に複合集客施設 25年春オープン
(13)	八工大 橋のメンテ体験施設整備 長寿命化研究、人材育成へ
(14)	八戸三社大祭「人手が足りない」山車組9割、継続不安視
(15)	イトーヨーカドー八戸沼館店 閉店の見通し

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	ヴァンラーレ八戸の濱野君、松原君 国内選抜、国際大会へ
(17)	陸上日本選手権 男子1万メートル 田澤選手（八戸出身）4位
(18)	全日本レスリング 岩澤選手（八戸工高出）準V 類家選手（長者中出）3位
(19)	YSアリーナ 風物詩復活！カラフルリンク滑走

【行政】

記事	
(1)	<p><b>種差エリア施設充実へ 旧旅館再建など6事業に観光庁補助</b></p> <p>八戸市の三陸復興国立公園種差海岸エリアで、観光誘客力アップに向けた施設整備事業が動き出す。同市の事業者による6事業を含む地域計画をVISITはちのへがとりまとめて観光庁に申請。地域一体となった観光地の再生・高付加価値化を図る同庁の補助事業に採択された。「みちのく潮風トレイル」の起終点である蕪島から葦毛崎展望台までの約2.5キロをコアエリアに定め、国内外のトレイルを楽しみたい層をターゲットに設定。旧旅館宝台の再建や料理処「小舟渡」の改修など、これまで課題とされていた宿泊・飲食施設不足や観光コンテンツの充実などに取り組む方針を示した。</p>
(2)	<p><b>八戸ブックセンター 子ども関連書籍大幅増</b></p> <p>八戸市が運営する八戸ブックセンターは、2016年開館以来、初となる大規模な配置変更を行った。熊谷市長が政策公約に掲げた「子どもファースト」の観点を踏まえ「子ども・子育て・暮らし」のテーマ棚を大幅に拡大した。「幼年童話」「映画・アニメ」など4つの棚を新設し、本に関する雑貨や雑誌の充実も図りながらより幅広い市民の利用を目指す。また、「人文」の棚には経済やまちづくり関連の書籍を集約。課題を発見、解決する能力を育む「STEAM（スティーム）教育」も新たに選書した。</p>
(3)	<p><b>SDGsセミナー 海の環境 さかなクンと考える</b></p> <p>八戸市は12月10日、第2回SDGsセミナーを開催した。様々なメディアで活躍している東京海洋大客員教授のさかなクンが「さかなクンと学ぶSDGs」と題して講演した。セミナーは2022年に引き続き2回目で、海と共に発展してきた八戸が、SDGs14番の目標である「海の豊かさを守ろう」を実現できるよう、市民に広く知ってもらう目的で開催。さかなクンは、青森県の県魚であるヒラメをはじめ多くの魚の生態や進化の過程、海洋ごみ問題などにふれ、参加者は楽しみながら海の環境について考えた。さかなクンが即興で描いた魚の種類を当てるお魚クイズでは、多くの子どもたちが手を挙げて盛り上がった。</p>
(4)	<p><b>八戸市23年度上半期 宿泊者数 コロナ禍前の水準回復</b></p> <p>八戸市は12月18日、2023年度上半期（4～9月）の宿泊者数と健康関連施設の入り込み客数の集計を公表した。市内の主要ホテル22施設の延べ宿泊者数は44万7065人で、18年度同期比2.0%増となり、新型コロナウイルス感染拡大前と同等の水準にまで回復した。大幅に落ち込んでいた外国人の宿泊者数も、23年度は急速に回復した。観光関連施設5カ所の入り込み客数の平均も18年度実績の8割超に持ち直した。感染症の5類移行や八戸三社大祭の通常開催などを背景に、観光需要が伸長した状況がうかがえる。</p>
(5)	<p><b>八戸水産高校で市が初アカデミー 「業界危機を好機に」</b></p> <p>水産業再興を目指し、八戸市が取り込む「八戸水産アカデミー」の本年度3回目の講演会が12月19日、八戸水産高校で行われた。生徒を対象にアカデミーを開催するのは今回が初めて。水産業に関わる人材の育成や担い手の確保が狙いで、講師はJR陸奥湊駅前地区周辺のまちづくりを行う「みちのくみなと未来」で、総合戦略プロデューサーを務める佐藤容紹氏。「新時代の幕開け」と題して講演し、水産業の担い手として期待される生徒たちに「業界の危機をチャンスと捉え、新しい時代を切り開いてほしい」と訴えた。</p>

	<b>東京で移住セミナー 八戸圏域の暮らし 先輩移住者が紹介</b>
(6)	八戸市など8市町村でつくる八戸圏域連携中枢都市圏は12月24日、東京・有楽町で移住セミナーを開催した。トークイベントには、八戸に住み民間企業で働いている3人の移住者をゲストに招き体験談などを語ってもらった。移住後に生活のストレスが減ったことや、自然を楽しむ休日の過ごし方などを紹介するとともに、雪道運転の苦労なども明かし、参加した首都圏在住者らは八戸圏域での暮らしに興味を膨らませた。会場には各市町村のブースも設けられ、参加者が移住した際の補助制度などの説明を受けた。

**【産業】**

記事	概要
(7)	<b>海外バイヤーに水産加工品PR 八戸で県内7社の商談会</b> 中国の禁輸措置を背景に、県内水産関連事業者の販路の多角化に向けた支援のため、日本貿易振興機構（JETRO）青森貿易情報センターは12月4日、八戸市内で海外バイヤーを招いた水産加工品の商談会を開催した。取引実績のある国をターゲットに、中国の代わりとなる取引先の開拓や顧客とのパイプをより強固にするのが狙い。八戸、青森両市と平内町の水産加工業者7社が参加し、米国、カナダ、シンガポールの輸入業者6社に対し、ホタテやカニ、締めさばといった自社製品をアピールした。バイヤーらは、「日本の魚は他国と比べ物にならないほど鮮度が良い」と強調するなど、取引に前向きな姿勢がみられた。
(8)	<b>潮風トレイルの魅力 オーストラリアへ 旅行関係者招きツアー</b> 日本航空東北支社は、「みちのく潮風トレイル」を利活用し、海外からの誘客に向けた取り組みに乗り出した。自然体験への関心が高く、トレイル文化が根付くオーストラリアをターゲットに12月3～7日の5日間の日程で旅行会社の関係者を招き、現地視察ツアーを企画した。一行は4日に岩手県宮古市を出発し、6日夜に八戸入り。中心街の横丁文化を体験し、7日は、市魚菜小売市場で朝食を取り、JR八戸線で種差海岸駅へ。淀の松原や中須賀などの名所を経由してゴールの蕪島に向かった。参加者は景色の圧倒的な美しさに驚いたり、出会った人のもてなしなどから日本らしさを感じるなど好感触を示した。
(9)	<b>八戸でこたつ屋形船運航開始 おでん、熱かん、冬景色</b> NPO法人みなとオアシス八戸は、8人乗りの屋形船を使用して八戸市の新井田川を周遊する観光事業を展開している。本年度は冬季に運航するこたつ屋形船に、おでんと日本酒をセットにして八戸港付近約7.4キロを周回するプラン「おでん熱爛こたつ屋形船」を企画した。乗客はおでんと熱かんを味わいながら、工業地帯の風景やウミネコとの触れ合いなど冬の八戸港周辺の景色を満喫できる。料金は一人5500円で2人から予約可能。運航は2024年3月末まで。
(10)	<b>八戸のゲストハウスと東京のホステル連携 訪日客 相互に呼ぼう</b> インバウンドを中心とした旅行者の相互誘客に向け、八戸市のゲストハウス「トセノイエ」と東京都小金井市のホステル「ワイルド・チェリー・ブロッサム・ホステル」が連携を始めた。小金井市の施設は八戸市出身の大矢雄一郎さんが設立人。コロナ禍が落ち着いた現在の宿泊者数は7、8割がインバウンドで訪問先は、主に東京、大阪エリアだという。2施設の連携により北東北や八戸への誘客動線を独自に創出することを提案し実現した。知名度が低い地方を直接PRすることで訪問先の選択肢にする機会をつくる。また、今後は八戸で地元住民や観光客向けに小金井のPRイベントなども企画し、相互誘客につなげたい考え。

【地域】

記事	概要
(11)	<p><b>衆院議長在任歴代最長を記録 大島氏肖像画 国会に</b></p> <p>第76、77代衆院議長を務め、在任日数2336日と歴代最長を記録した大島理森氏の肖像画が完成し、12月4日に掲額セレモニーが行われた。衆院内には、日本国憲法制定後の歴代議長の肖像画が掲げられており、衆院で12回の当選を重ね、2021年10月に議長を退任した同氏の油彩画大小2種類は、応接室と衆院第三委員室に飾られた。セレモニーで大島氏は「地元の皆さんをはじめ、支えてくれた方々に改めて感謝したい」と謝意を示した。</p>
(12)	<p><b>デーリー東北 創刊80周年記念事業 種差海岸に複合集客施設 25年春オープン</b></p> <p>デーリー東北新聞社は、八戸市の種差海岸地区に飲食と物販、宿泊、体験機能を併せ持った複合施設を建設し、2025年春にオープンすると発表した。同社創刊80周年記念事業の一環。場所は、種差海岸インフォメーションセンター西側の旅館宝台跡地。約3100平方メートルの敷地内にレストラン棟と宿泊棟を整備。厳選した北奥羽地方の一品を販売するショップも併設。マルシェなど各種イベントに対応できる芝生広場も整備する。三陸復興国立公園の北の玄関口である蕪島・種差海岸地区に新たな集客拠点を設けることで、交流人口の拡大と種差観光の通年化を図る考え。</p>
(13)	<p><b>八工大 橋のメンテ体験施設整備 長寿命化研究、人材育成へ</b></p> <p>八戸工業大は構内に実在する橋を再現した「橋梁メンテナンス体験施設」を完成させた。国内では年月の経過とともに多くの橋が老朽化する中、近年の激甚化する災害にも耐え得るように、メンテナンスでいかに長寿命化させるかが重要になっている。完成した体験施設により、実物を見ながら劣化状況などについて研究することが可能となった。大学の講義のほか、地域の技術者を対象とした学び直しや市民がインフラの必要性について理解を深める学習素材としての活用も見込む。インフラに関わる地元企業は人材確保や技術の深化といった効果にも期待を寄せている。</p>
(14)	<p><b>八戸三社大祭 「人手が足りない」 山車組9割、継続不安視</b></p> <p>八戸三社大祭運営委員会がコロナ禍を踏まえた各組の現状を知る目的で実施したアンケートで、山車制作者やひき子らが不足している現状が改めて浮かんた。今年はコロナ禍を超えて4年ぶりの通常開催となり、約106万人の入込み数を記録するなど盛況だった一方で、多くの組で前回より参加者が減少しており、約9割がこのまま継続できるか不安視している。以前から各山車組は人材確保に苦慮していたが、運営側はより状況が厳しくなっているのが明らかになったと分析。地域の祭りをどう継承していくか調査結果を踏まえ、今後の対応策などを検討していく。</p>
(15)	<p><b>イトーヨーカドー八戸沼館店 閉店の見通し</b></p> <p>八戸市沼館のショッピングセンター「ピアドゥ」内の核テナント「イトーヨーカドー八戸沼館店」が、2024年8月ごろに閉店する見通しとなった。2023年3月、セブン&amp;アイ・ホールディングス（東京）は、傘下のヨーカ堂について運営合理化策で地方の不採算店を中心に国内店舗を削減する方針を示していた。市民からは、驚きや閉店を惜しむ声がある一方、「もしかしたらとは思っていた」と冷静に受け止める声もあった。八戸進出から40年余。北奥羽地方の商圈を支え、市民に親しまれる存在になったヨーカドーが惜しまれつつも姿を消す。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	<p><b>ヴァンラーレ八戸の濱野君、松原君 国内選抜、国際大会へ</b></p> <p>12月15～17日にスペイン・バルセロナで開催されたサッカー国際大会「Tic Tacカップ」に、ヴァンラーレ八戸U-12 所属の濱野陽友君と松原瑚太郎君が初挑戦した。大会は小学生年代の「チャンピオンズリーグ」とも称され、同国カタルーニャ州の予選突破チームと海外クラブのユースチームなど強豪がしのぎを削る。ヴァンラーレの熊谷ゼネラルマネージャーが、永久的大会の出場枠を保有する「FANTASISTA合同会社」の込山CEOを過去に指導していた縁で二人の参加が実現し、同社が運営するサッカースクールの選抜チームの一員として遠征に帯同した。</p>
(17)	<p><b>陸上日本選手権 男子1万メートル 田澤選手（八戸出身）4位</b></p> <p>陸上の日本選手権1万メートルは12月10日、東京・国立競技場で行われ、2023年の世界選手権代表の田澤廉選手（八戸出身、トヨタ自動車）は自己ベストの27分22秒31をマークしたが4位に終わった。2024年のパリ五輪の代表選考会を兼ねた今大会は、上位3人が日本記録を更新したハイレベルなレースとなったが、今大会でパリ五輪出場を決めた選手はおらず、切符を懸けた激しい争いはまだ続く。</p>
(18)	<p><b>全日本レスリング 岩澤選手（八戸工高出）準V 類家選手（長者中出）3位</b></p> <p>2024年のパリ五輪代表選考につながるレスリングの全日本選手権第2日は、12月22日、東京・代々木第二体育館で行われた。五輪階級の女子62キロ級決勝で岩澤希羽選手（八戸工高出、秋田ノーザンハピネッツ）が準優勝した。敗者復活戦に臨んだ同階級の類家直美選手（長者中出、レスターホールディングス）は3位決定戦を制し、銅メダルを獲得した。同階級の表彰台には、同じ八戸クラブ出身の二人が並んだ。</p>
(19)	<p><b>YSアリーナ 風物詩復活！ カラフルリンク滑走</b></p> <p>色とりどりのライトで照らされたリンクを滑走できるチャリティーイベント「ハチノハイルミネーションスケート2023」が12月23、24日の両日、YSアリーナで開催された。市民にスケートを楽しんでもらおうと合同会社マーキー（八戸市）の鈴木陽介代表が、かつての長根リンクで行われた企画を基に復活させた。銀盤がカラフルに彩られたほか、跳躍器具の体験コーナーや市民バンドのライブパフォーマンスなどもあり、来場者は思い思いに満喫した。</p>

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただく寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

## 申込み方法

### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要な事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



## 送付先

### 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。